



キーウェアソリューションズ株式会社

(東証2部 3799)

IT can create it.

決算説明資料

2012年3月期 第3四半期



キューカーブ2015

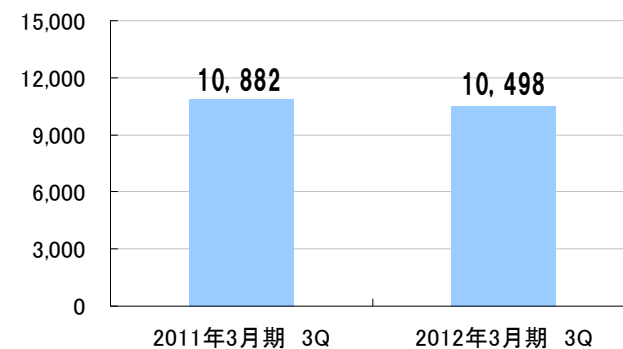
※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

**ユーザー企業のIT投資抑制が継続、長期化する中、
売上高の確保、収益性の向上に取り組み、
前年同期比で売上高は微減、損益は改善したものの、
目標水準を下回る。**

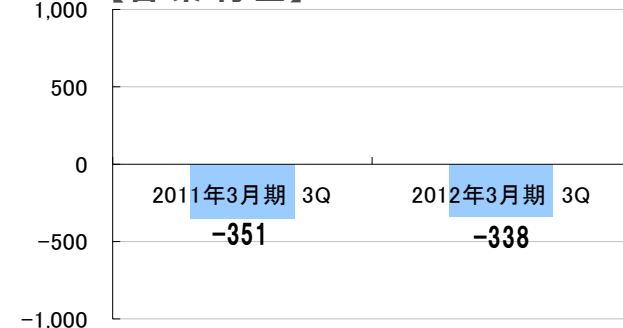
連結損益計算書概要 (単位:百万円/%)

項目 \ 決算期	2011年3月期 3Q		2012年3月期 3Q	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	10,882	-8.8%	10,498	-3.5%
売上原価	9,128	-12.3%	8,763	-4.0%
売上総利益	1,754	15.2%	1,734	-1.1%
販管費	2,105	-10.3%	2,072	-1.5%
営業利益	-351	-	-338	-
経常利益	-352	-	-395	-
当期純利益	-644	-	-464	-

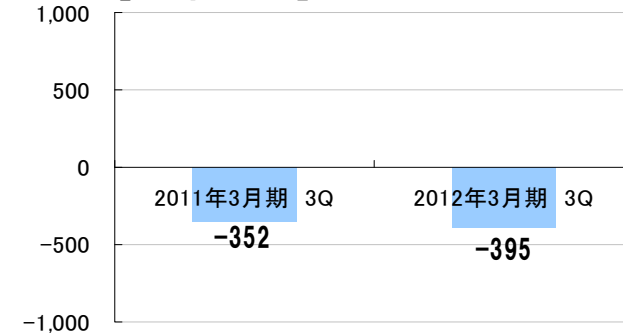
【売上高】

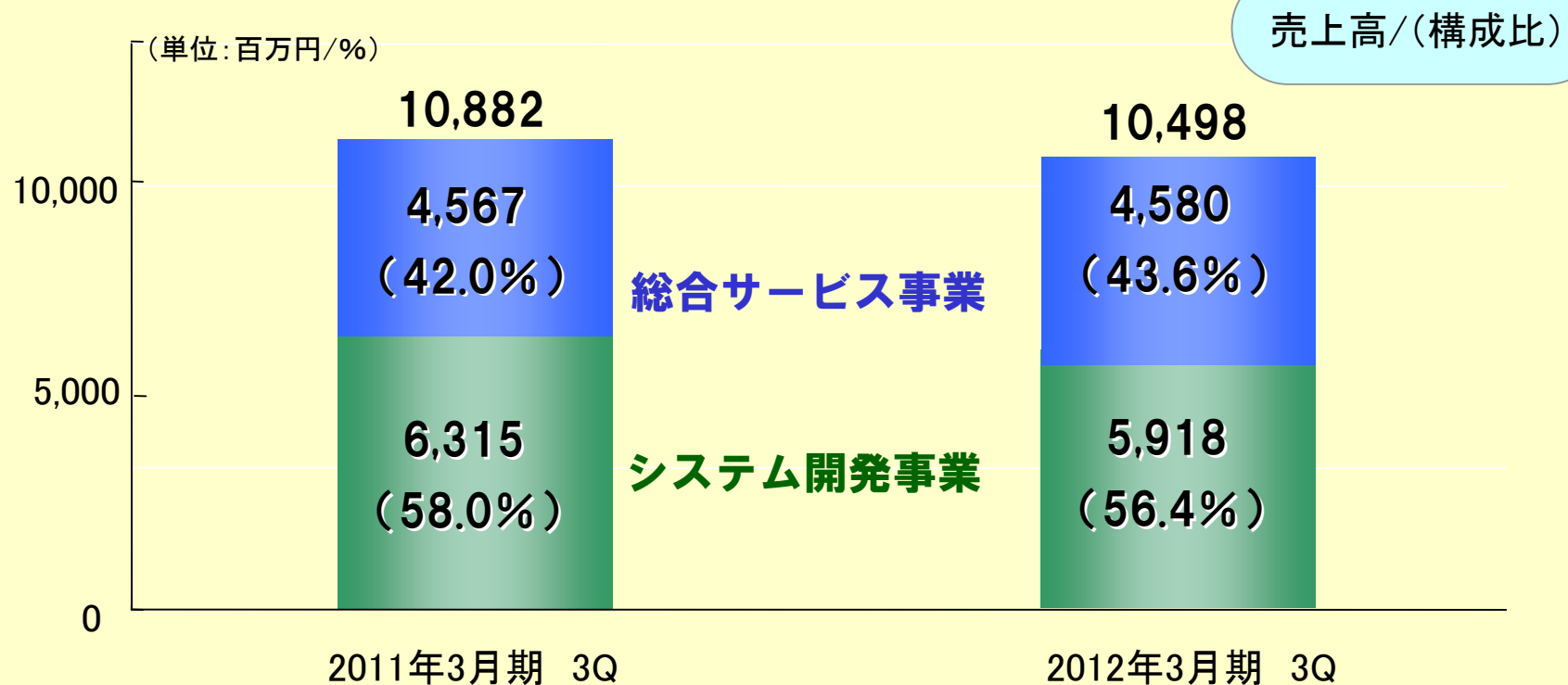
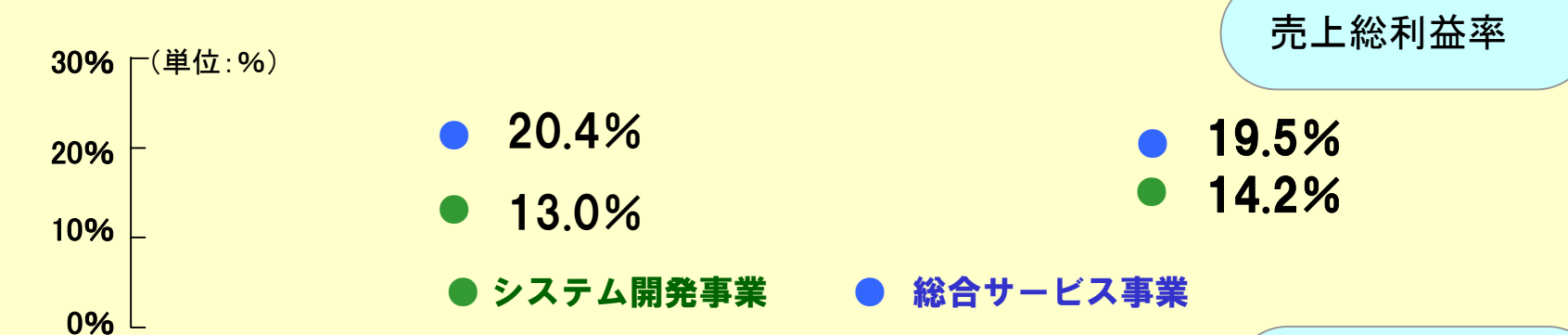


【営業利益】



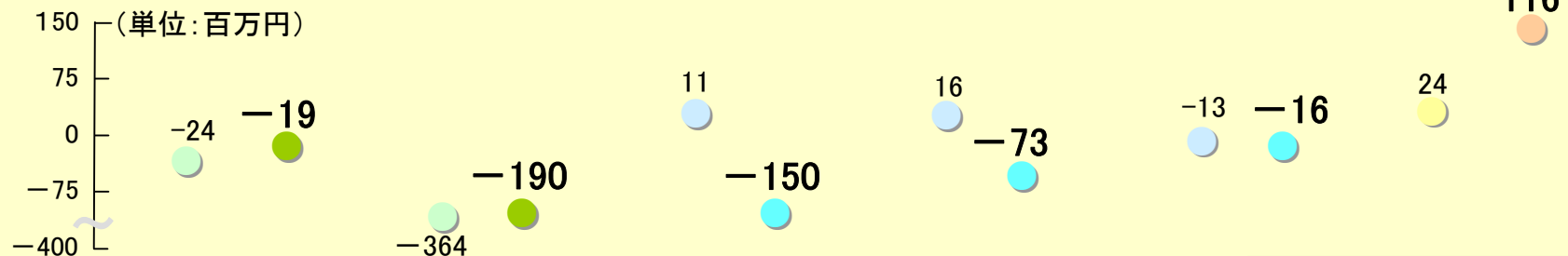
【経常利益】





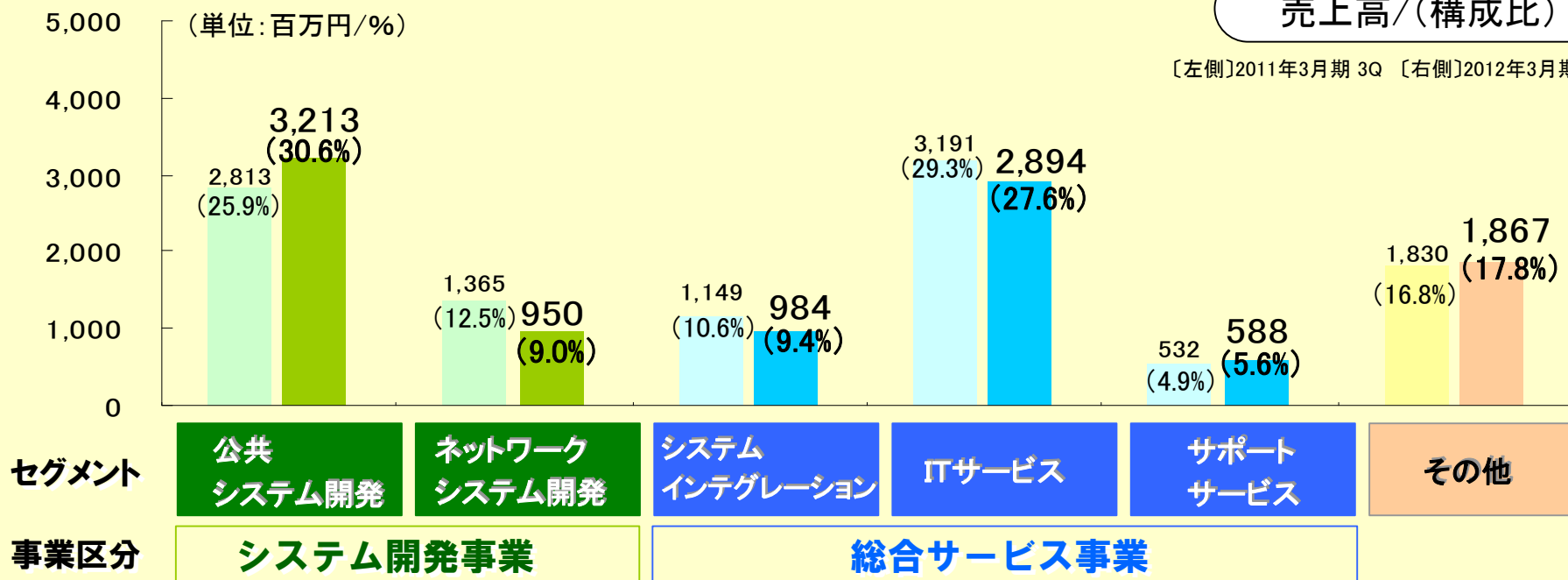
営業利益

[左側]2011年3月期 3Q [右側]2012年3月期 3Q



売上高/(構成比)

[左側]2011年3月期 3Q [右側]2012年3月期 3Q



* 上記の業績数値は、セグメント間で発生した取引を除いた売上高を記載。

* 「その他」: 報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもち独立した経営単位のセグメント、および機器販売等

システム開発事業

公共システム開発事業

新規・継続案件を積極的に推進

●官公庁系 ●報道系

受注高、売上高ともに堅調に推移

●通信系 ●金融系

受注高、売上高ともに軟調に推移

ネットワークシステム開発事業

新規・継続案件を積極的に推進

●航空宇宙系

受注高、売上高ともに軟調に推移

●ネットワーク監視系

受注高、売上高ともに軟調に推移。

* 既存顧客の発注単価低下に伴う受注額の減少ならびに稼働率の低下等の影響から収益面で損失を計上

総合サービス事業

システムインテグレーション事業

●医療系SI案件

電子カルテ、オーダリング案件を主軸に、継続・新規案件の受注獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高ともに堅調に推移

●運輸系SI案件

受注高、売上高の不調により損失計上

ITサービス事業

●keyCOMPASS事業

開発系業務においては、自治体や企業のIT投資抑制により、大型案件が減少、一部開発案件の延期、契約締結までの期間の長期化等が続いており、軟調に推移

●インフラ構築事業 ●ERP事業

新規・継続案件を積極的に推進し、受注高、売上高ともに堅調に推移

サポートサービス事業

SO(System Outsourcing)業務において、継続・新規案件の受注獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高ともに堅調に推移いたしましたが、収益面においては、既存顧客の発注単価低下等が発生したことにより軟調に推移

連結貸借対照表概要 (単位:百万円)

項目 \ 決算期	2012年3月期末 第2Q末	2012年3月期 第3Q末
資産合計	9,057	9,994
流動資産	4,483	5,470
固定資産	4,573	4,523
負債合計	2,913	3,980
流動負債	2,328	3,548
固定負債	585	432
純資産合計	6,144	6,013
資本金	1,737	1,737
資本剰余金	507	507
利益剰余金	3,906	3,779
その他	-6	-10
負債・純資産合計	9,057	9,994

項目別コメント

流動資産残高

主な増減要因は、現金及び預金の減少、商品及び製品の増加、仕掛品の増加

固定資産残高

主な減少要因は、のれんの償却による減少、投資有価証券の減少

流動負債残高

主な増加要因は、短期借入金の増加

固定負債残高

主な減少要因は、長期借入金の返済による減少

純資産残高

主な減少要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少

更なる品質・顧客満足度の向上（既存顧客との連携強化・深耕・横展開）

**NECとの連携による
電子カルテシステムや医事会計システムの受注が引き続き堅調**

☆当社グループの医療ソフトウェアパッケージの販売も堅調維持

**NEC製品である
WebOTX(クラウド時代のサービス実行基盤)の基盤構築の受注が堅調**

**日本HPとのパートナーシップのもと、
組織的な情報収集と営業展開による新規案件の受注が堅調**

サービス提供型、
クラウド関連を事業として確立

プライムユーザー拡大

第2期世田谷区ひとり親家庭等在宅就業支援事業の 受注とサービスの開始

文書情報マネジメントの普及、啓発に努めている国内唯一の公認団体JIIMA※に入会し、文書情報セキュリティ分野への進出を目指す ※JIIMA（社団法人日本画像情報マネジメント協会）

社会インフラ系の官公庁入札案件が堅調

事業環境

内外の厳しい経済環境のもと、ユーザー企業はIT投資抑制の継続に加え、クラウドコンピューティングの利用に代表されるようなIT資産を持たない企業経営への転換が加速



急激な景気回復は見込まれず、今後も厳しい事業環境が継続し、当社も含め、情報サービス産業における受託ソフトウェアを主軸とする企業は、個別システムを「作る」ビジネスモデルから脱却が急務

質的転換を継続するとともに
抜本的な事業構造改革を断行し、「3つのフロンティア」のもと、
厳しい事業環境に自ら機敏に変化することで成長分野を開拓

質的転換

- 更なる品質・顧客満足度の向上
- サービス提供型、クラウド関連を事業として確立
- プライムユーザ拡大

+

事業環境の大きな変化にしなやかに対応でき、
現在の売上高レベルでも安定した収益を確保できる事業構造に改革する
抜本的な事業構造改革を断行

+

3つのフロンティア(frontier)を目指す

1

地理的・空間的な
フロンティア

地域的(国内、国外)な
事業開拓

2

事業上の
フロンティア

新たなテクノロジー領域・
ビジネスモデル領域の開拓

3

考え方・発想の
フロンティア

自ら発想し、動き出す
フロンティア精神

事業構造改革の概要

1

経営資源の再配置

2

生産性・収益性向上にむけた人事制度の改定

3

競争力確保のための新技術の習得

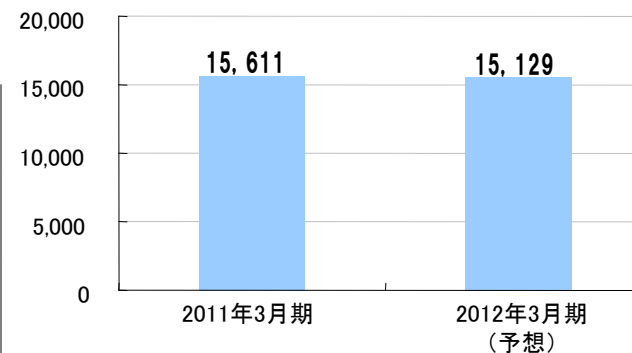
4

新規領域(フロンティア)への進出

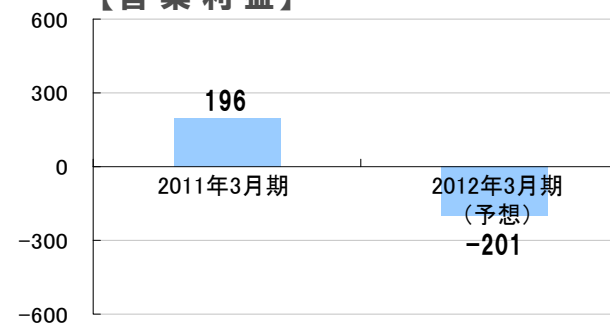
■ 通期業績予想 (単位:百万円/%)

項目 \ 決算期	2011年3月期		2012年3月期	
	実績	前年同期比	予想	前年同期比
売上高	15,611	-9.2%	15,129	-5.4%
売上総利益	2,940	16.0%	2,584	-17.2%
営業利益	196	-	-201	-
経常利益	240	-	-218	-
当期純利益	-76	-	-299	-

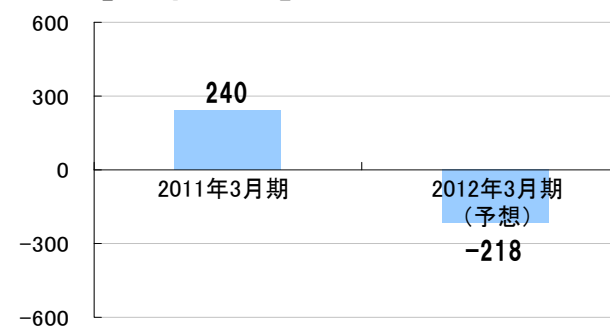
【売上高】



【営業利益】



【経常利益】



配当方針・期末配当の見送り

■ 基本方針

- ・利益に比例して配当金を増減させる「業績連動配当」を実施
- ・連結ベースでの株主資本利益率および株主資本配当率を勘案し、業績に応じた配当を実施していく方針 → 今後も継続

■ 当期の配当方針

- ・期末配当を見送り、業績の早期回復と中長期的な競争力強化・収益力の向上をはかる

■ 2012年3月期 1株当たりの配当額

第2四半期末	期末	年間計
2円	0円	2円

御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3226-3799

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。